

訪問看護 スマイル通信

Vol. 87 R3.1

おかげさまで無事に新年を迎えることができ、感謝の思いで一杯です。
世界中の人たちが1日も早く安心した生活ができるよう祈るばかりです。



H様のお話し ～訪問看護奮闘記～

H様（70歳代・男性・独居）との出会いは6年前。半身麻痺にて車いすを使用されていますが、がっちりした体形と筋力。柔道のアスリートだったと聞き、納得でした。

循環が良くないことで下腿が浮腫み、表面に水疱ができ時々表皮剥離、時には潰瘍に。処置と予防目的での訪問開始でした。調子が良い時期もあれば、特別訪問指示書にて頻回訪問で処置を行ったり。そんな中、数か月前より皮膚に異常が。軟膏塗布にて改善傾向にも思いましたが治りきらず。最近になり急に悪化。掻痒にて夜間も眠れないとのこと。

名市大病院に受診され、『〇〇（直接感染する皮膚疾患：感染力は弱い）』と診断されました。

H様は、病名にショックを受けながらも、原因が分からないまま治らないことを不満に思われていたため、診断されてスッキリされたようにも見えました。全身に軟膏を塗布することによって、早速当日に臨時訪問。

問題は明日から。『1日1回入浴後に塗布』との指示ですが、入浴は週3回のデイサービスのみ。

ご自宅のユニットバスはトイレのみ使用、浴槽は物入れに。今まで使ったことが無く・・・(-_-)

感染症のためデイサービスもしばらくお休み。訪問入浴を明日から毎日なんてことも現実的ではなく。

ケアマネージャーさんと相談し、苦肉の策としてご自宅のユニットバスでトイレに座ってシャワー浴を・・・ホントに？と思いましたがとりあえずそれしかなく、その方向で下見、準備。

「ええー！？そんなのできないよ。」と私たち以上に驚き、難色を示すH様。しかし今はそうするしかないことをご理解され、一緒にシミュレーション・動作確認。

「これならできそうだね。」とお互い安全に行えることを確認し、簡易シャワーカーテンも購入し準備万端。

いざ翌日。まずはガウン装着と準備→H様の移動→決して広いとは言えない空間で大きなH様のシャワー浴→H様の移動→全身余すところなく軟膏塗布→着衣介助。最後に水浸しのユニットバスの壁や床を拭き上げ、濡れないように移動した物を戻し、自らのガウンを外し・・・正直大変ですが無事に。(^^)

ここは集中してしっかり治療しなければと、まずは2週間、何とかスケジュールを調整し毎日訪問🍀

最初は難色を示していたH様も、治療開始翌日には痒みが改善し、毎日のシャワー浴もまんざらでもなさそう。かなり協力的。すぐに私達の手際も良くなり、大変ながらもH様の症状が改善されていくのが何よりでした。

そして2週間後の受診にて感染の可能性無しとの診断。ホッ。しかし再発防止のために、軟膏塗布はもうしばらく続行との指示・・・💧 今も毎日頑張っています。

ご利用者様のためなら現場（ご自宅）の状況に合わせて何でも有り！??な在宅（訪問看護）です・・・(^^;)



2021

今年もよろしくお祈りします

丑

365日平日料金にて訪問いたします！

訪問看護ステーション スマイル

 <http://houmonsmile758.web.fc2.com/>



(052) 680-9761



(052) 680-9762

